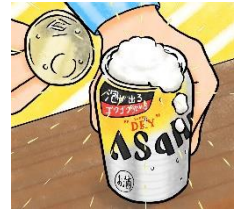


# トレンドを斬る!

アサヒビールの「生ジョッキ缶」が人気です。味わいが勝負のビール商戦とは一線を画し中身はスーパードライのままです。

特殊な容器の開発に2年をかけて「生ジョッキの家飲み」を実現。ふたを全開にすれば白い泡がモコモコと出て、居酒屋で飲むようにクリーミーな泡をゴクゴク楽しめます。ふたを開けると自然に泡が出る面白さはSNSや動画で反響を呼び、ビールを飲まない若者たちの需要も伸びています。社を挙げた発想の転換の開発ストーリーは必読です。



## 365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント:【商売のフシを作る】

「竹に節がなければズンベラボーで、とりとめがなく風雪に耐えるあの強さも生まれてこないであろう。竹にはやはりフシがあるのである。同様に、流れる年月にもやはりフシがある。ともすれば、とりとめもなく過ぎていきがちな日々である。せめて年に一回はフシを作って、身辺を整理し、長い人生に耐える力を養いたい。そういう意味では、お正月は意義深く、おめでたくて、心もあらたまる」。これは「経営の神様」といわれた松下幸之助の言葉です。

今でも名言として多くの人に響くのは、新しい年の始まりを「フシ」と捉えて襟を正す感性が、日本人の普遍だからでしょうか。物事をどう捉えるか、どう解釈するかで、人生の重みや深みはまったく違ってきます。特に商売で風雪に耐えた経験が多い人には、松下幸之助の言葉がじわじわとくるのではないかと思います。ところで竹は不思議な植物です。中身は空っぽで節があり、木でもなければ草でもない。「竹、節ありて強し」の言葉どおり、節のおかげで上に上にと高く伸びても強度が保たれるそうです。また一節目が割れると一気に割れていきますが、その一方で簡単には折れないしなやかさも持ち合わせています。高さ何メートルにもなる竹が風雪に耐えられるのは、節が作り出す「強さ」と「しなやかさ」の剛柔併せ持った性質によるものなのです。

近年「レジリエンス」という言葉を見聞きすることが増えました。世界的に注目されている言葉で、日本語では「折れない心」「精神回復力」などと訳されていますが、要するに「しなやかさ」のことでしょう。心も体もすべてにおいて「強さ」を追求した時代が長く続いたあと、これからは「しなやかさ」が時代を生きていく心得となるのかもしれませんが。柔らかく、しなやかなものは、堅くて強いものより丈夫だったり長持ちだったりします。この新年をフシにして、今年も強く、そしてしなやかに、長い人生に耐える力を養っていきましょう。ちなみに、地上から出ている竹の1本1本は、すべて地下茎でつながっています。この「つながっている」というイメージは心強いものですね。



トナリの

## 本棚



### 【ミステリと言う勿れ】

男子大学生の主人公が、論理的で既成概念にとらわれない話を語るうちに、難事件が鮮やかに解決されていく物語。ミステリーであってミステリーでない田村由美の漫画です。主人公の語りを読むために続きを読んでしまう不思議な一冊です。

### 船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: [info@f-office301.com](mailto:info@f-office301.com)

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎